

京都大学新聞

学生団体 京都大学新聞社
京都府左京区吉田
京都大学構内
(76) 2054 直通
(75) 2111 (内線2571)
電報 京大3909
(1部30円 1年間1,000円)

階級的労働運動の戦列

第1回
秋山秀男

シリーズ 労働者の闘い

「階級的労働運動」とは、労働者が階級的立場から、資本主義制度そのものを根絶しようとする運動である。これは、単なる労働条件の改善を目的とする改良主義運動とは根本的に異なる。労働者は、生産活動を通じて社会に貢献しているにもかかわらず、その成果の大部分を資本家に奪取されていく。この不公正な分配を正すためには、労働者は階級的意識を覚悟し、組織的に闘争しなければならない。この闘争は、単に労働組合の活動にとどまらず、社会全体の階級闘争へと発展していく。労働者の闘いは、社会の進歩と正義の实现のために不可欠なものである。

1 初々しく野放し
労働者の闘いは、最初は必ずしも組織的に行われるとは限らない。むしろ、個々の労働者が自発的に行動を起こすことが多い。これは、労働者が自身の権利を主張する第一歩である。しかし、このような野放しの行動だけでは、資本家側からの圧力に打ち負かされる危険がある。したがって、労働者は、自発的な行動を基盤として、次第に組織化を進める必要がある。

2 組織化の重要性
労働者が組織化することの重要性は、歴史的にも証明されている。組織化された労働者は、交渉力が高まり、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。また、組織化は、労働者の連帯感を醸成し、共通の目標に向かって努力する契機となる。労働組合の形成は、労働者の闘いを進めるための重要なステップである。

3 闘いの持続性
労働者の闘いは、短期的な成功を期して行われるべきではない。むしろ、持続的な闘いを続けることが重要である。資本家は、労働者の闘いを鎮圧しようとするかもしれないが、労働者は諦めず、再び立ち上がる覚悟が必要である。持続的な闘いは、社会の改革を促すための唯一の方法である。

4 思想の統一
労働者の闘いを進めるためには、思想の統一が不可欠である。労働者は、階級的立場を明確にし、共通の目標を掲げなければならない。異なる階級の利益を追求するのではなく、階級的立場から共通の利益を追求する必要がある。思想の統一は、労働者の団結を強め、闘いを進めるための基盤となる。

5 社会全体の階級闘争
労働者の闘いは、社会全体の階級闘争の一部である。労働者は、単に自身の利益を追求するだけでなく、社会全体の階級闘争に参加しなければならない。労働者の闘いは、社会の改革を促すための重要な役割を果たしている。労働者は、社会の進歩と正義の实现のために、階級的立場から奮闘し続ける必要がある。

6 労働者の団結
労働者の団結は、階級的労働運動の基盤である。労働者は、互いに助け合い、共通の目標に向かって努力しなければならない。団結は、労働者の力を強め、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。労働者は、団結を基盤として、階級的立場から闘いを進める必要がある。

7 階級的意識の覚悟
労働者は、階級的意識を覚悟し、階級的立場から闘いを進める必要がある。これは、単なる労働条件の改善を目的とする改良主義運動とは異なる。労働者は、階級的意識を覚悟し、階級的立場から闘いを進める必要がある。階級的意識の覚悟は、労働者の闘いを進めるための重要なステップである。

8 階級的闘争の重要性
階級的闘争は、労働者の闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、階級的立場から闘いを進める必要がある。階級的闘争は、労働者の力を強め、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。労働者は、階級的闘争を基盤として、階級的立場から闘いを進める必要がある。

9 階級的闘争の持続性
階級的闘争は、持続的な闘いを続けることが重要である。労働者は、階級的立場から闘いを進める必要がある。階級的闘争は、労働者の力を強め、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。労働者は、階級的闘争を基盤として、階級的立場から闘いを進める必要がある。

10 階級的闘争の思想の統一
階級的闘いを進めるためには、思想の統一が不可欠である。労働者は、階級的立場を明確にし、共通の目標を掲げなければならない。思想の統一は、労働者の団結を強め、闘いを進めるための基盤となる。労働者は、階級的闘いを進めるために、思想の統一を追求する必要がある。

11 階級的闘争の社会全体の階級闘争
労働者の闘いは、社会全体の階級闘争の一部である。労働者は、単に自身の利益を追求するだけでなく、社会全体の階級闘争に参加しなければならない。労働者の闘いは、社会の改革を促すための重要な役割を果たしている。労働者は、社会の進歩と正義の实现のために、階級的立場から奮闘し続ける必要がある。

12 階級的闘争の労働者の団結
労働者の団結は、階級的労働運動の基盤である。労働者は、互いに助け合い、共通の目標に向かって努力しなければならない。団結は、労働者の力を強め、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。労働者は、団結を基盤として、階級的立場から闘いを進める必要がある。

一人ひとりが闘いの主人公に
「一人ひとりが闘いの主人公に」というテーマは、労働者の階級的闘いを進めるための重要なメッセージである。労働者は、単に組織の一員として行動するのではなく、それぞれの立場から積極的に闘いに参加しなければならない。一人ひとりが闘いの主人公になることで、労働者の力は強まり、階級的闘いを進めることができるようになる。

二四八日の職場占拠を貫徹
二四八日の職場占拠は、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、職場を占拠することで、資本家側からの攻撃に耐えられるようになる。また、職場を占拠することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、二四八日の職場占拠を貫徹し、階級的闘いを進める必要がある。

地裁・日共の仮処分を追求
地裁・日共の仮処分を追求することは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、地裁を通じて日共の仮処分を追求することで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、地裁・日共の仮処分を追求することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、地裁・日共の仮処分を追求し、階級的闘いを進める必要がある。

奈良・橋のない川「公判闘争」
奈良・橋のない川「公判闘争」は、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、奈良・橋のない川「公判闘争」を通じて、階級的闘いを進めることができるようになる。また、奈良・橋のない川「公判闘争」は、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、奈良・橋のない川「公判闘争」を通じて、階級的闘いを進める必要がある。

官憲の手を寄せつけず
官憲の手を寄せつけず、労働者の階級的闘いを進める必要がある。労働者は、官憲の干渉を受けず、階級的立場から闘いを進める必要がある。官憲の手を寄せつけず、労働者の階級的闘いを進める必要がある。労働者は、官憲の干渉を受けず、階級的立場から闘いを進める必要がある。

南朝鮮人民の決起に連帯を
南朝鮮人民の決起に連帯をすることは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、南朝鮮人民の決起に連帯することで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、南朝鮮人民の決起に連帯することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、南朝鮮人民の決起に連帯し、階級的闘いを進める必要がある。

全関西集会百名を結集
全関西集会百名を結集することは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、全関西集会百名を結集することで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、全関西集会百名を結集することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、全関西集会百名を結集し、階級的闘いを進める必要がある。

3・1朝鮮独立万歳革命55周年
3・1朝鮮独立万歳革命55周年を記念して、労働者の階級的闘いを進める必要がある。労働者は、3・1朝鮮独立万歳革命55周年を記念して、階級的立場から闘いを進める必要がある。3・1朝鮮独立万歳革命55周年を記念して、労働者の階級的闘いを進める必要がある。労働者は、3・1朝鮮独立万歳革命55周年を記念して、階級的立場から闘いを進める必要がある。

階級的労働運動の戦列
階級的労働運動の戦列は、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、階級的労働運動の戦列を通じて、階級的闘いを進めることができるようになる。また、階級的労働運動の戦列は、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、階級的労働運動の戦列を通じて、階級的闘いを進める必要がある。

一人ひとりが闘いの主人公に
一人ひとりが闘いの主人公になることは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、一人ひとりが闘いの主人公になることで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、一人ひとりが闘いの主人公になることは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、一人ひとりが闘いの主人公になり、階級的闘いを進める必要がある。

二四八日の職場占拠を貫徹
二四八日の職場占拠を貫徹することは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、二四八日の職場占拠を貫徹することで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、二四八日の職場占拠を貫徹することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、二四八日の職場占拠を貫徹し、階級的闘いを進める必要がある。

地裁・日共の仮処分を追求
地裁・日共の仮処分を追求することは、労働者の階級的闘いを進めるための重要な手段である。労働者は、地裁・日共の仮処分を追求することで、階級的闘いを進めることができるようになる。また、地裁・日共の仮処分を追求することは、労働者の団結を強め、階級的闘いを進めるための契機となる。労働者は、地裁・日共の仮処分を追求し、階級的闘いを進める必要がある。

カリフォルニア大学

- 4週間英語集中コース ¥269,000
- 出発 昭和48年12月16日・昭和49年1月13日
2月10日・3月10日・4月7日

カリフォルニア バークレー英語留学

- 12週間英語集中講座 ¥509,000
- 24週間英語集中講座 ¥764,000
- 出発 48年12月16日・昭和49年1月13日
2月10日・3月10日・4月7日

シガン大学英語留学

- 8週間英語集中講座 ¥585,000
- 出発 昭和49年1月2日・6月22日・8月30日
- 15週間英語集中講座 ¥749,000
- 出発 昭和49年1月2日・4月30日・8月30日

絶望が解答ではない

破防法を議論しその後の波及と 問題点の整理にむけ

【本紙記者の取材】 若狭野矢氏(東京大学)は「破防法」の議論が、学生生活の中心にあり、その後の波及と問題点の整理にむけて、本紙記者の取材を受けた。若狭野矢氏は、破防法の議論が、学生生活の中心にあり、その後の波及と問題点の整理にむけて、本紙記者の取材を受けた。

宗派自身の解体へ 決定的反撃を

【本紙記者の取材】 宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。

後藤昌次郎弁 護士講演要旨

後藤昌次郎弁護士講演要旨。後藤昌次郎弁護士講演要旨。後藤昌次郎弁護士講演要旨。後藤昌次郎弁護士講演要旨。後藤昌次郎弁護士講演要旨。

【本紙記者の取材】 宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。

【本紙記者の取材】 宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。

【本紙記者の取材】 宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。

【本紙記者の取材】 宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。宗派自身の解体へ決定的反撃を。

闇カルテル・協定値上げの実態

不当な下宿代値上げを阻止する会

闇カルテル・協定値上げの実態。闇カルテル・協定値上げの実態。闇カルテル・協定値上げの実態。闇カルテル・協定値上げの実態。闇カルテル・協定値上げの実態。

モノ申ス 人間の交差を

モノ申ス 人間の交差を。モノ申ス 人間の交差を。モノ申ス 人間の交差を。モノ申ス 人間の交差を。モノ申ス 人間の交差を。

表I 部員賃料表

部員の種類	最低賃	最高賃	礼金	保証金
黄	4.5	8.000	1万	1万
青	6.0	10.000	1万	1万
アパート式(共同炊事場有)	4.5	10.000	3万	2万
アパート式(共同炊事場なし)	4.5	9.000	2万	2万
雑	6.0	12.000	2万	2万

1室に付1,000円以上とする

表I 部員代の経支出に対する割合

部員の種類	割合
東京	12.3%
大阪	4.7%
京都	18.5%

住居

部員の種類	自宅	下宿	アパート	寮	%
東京	50.8	28.5	18.1	2.1	//
大阪	83.2	10.9	4.5	0.9	//
京都	32.8	53.1	10.1	3.9	//

紹介者

部員の種類	大学	業者	先知	単人	%
東京	13.4	45.1	15.6	26.2	//
大阪	40.0	15.4	26.2	18.4	//
京都	26.8	17.3	42.2	13.7	//

野村證券

野村證券 野村光雄 野村光雄 野村光雄

三井銀行

三井銀行 河野光雄 河野光雄 河野光雄

野村證券

野村證券 野村光雄 野村光雄 野村光雄

京都大学新聞

定期購読のおすすめ

期間	1,000円	1,800円	2,600円	3,200円
1年間	1,000円	1,800円	2,600円	3,200円
2年間	1,800円	3,200円	4,600円	5,600円
3年間	2,600円	4,600円	6,600円	8,000円
4年間	3,200円	5,600円	8,000円	9,600円

序章 13号

十二月一日発行 四五〇円 千五〇〇円

特集 民族問題の原形

プロレタリア国際主義の復権のために
赤色工作員・タン・マラカ私考
民族問題の戦術・戦術上の歴史
アイルランドの民族問題
民族問題の現在の地平

序章 12号

★特集 日本共産党への死刑宣告
日本共産党の歴史
日本共産党の現状

序章 11号

★特集 日本共産党への死刑宣告
日本共産党の歴史
日本共産党の現状